

図書館に行こう！



9月

9月に入りました。暑さも少しずつ和らいで来ますね！

9月の図書館も楽しさ満載、いろいろな本を取り揃えて皆様のお越しをお待ちしています。秋の夜長は、読書に親しむ良い機会です。

今月の読み聞かせ

おはなしひろば 毎週火曜日 10:30~11:00
 おはなしルーム 竹田幼稚園 9月10日(木)
 南部幼稚園 9月17日(木)

開館のご案内

竹田市立図書館 (TEL&FAX 63-1048)

開館時間 午前10時~午後6時 休館日 月曜日・第4金曜日

萩駅交流館図書室 (TEL&FAX 68-2200)

開館時間 午前10時~午後6時 休館日 土・日・祝日等

久住図書室 (TEL 76-0717/FAX 76-0724)

直入図書室 (TEL 75-2211/FAX 75-2217)

開館時間 午前8時30分~午後5時 休館日 土・日・祝日等

新刊のご案内

【一般書】

- ・破局 [河出書房新社] 遠野 遙
- ・オフマイク [集英社] 今野 敏
- ・女だてら [KADOKAWA] 諸田 玲子
- ・風を結う 針と剣 縫箔屋事件帖 [実業之日本社]
- あさの あつこ
- ・夢をかなえるゾウ4 [文響社] 水野 敬也
- ・死という最後の未来 [幻冬舎] 石原 慎太郎・曾野 綾子
- ・好日絵巻 季節のめぐり、茶室のいろどり [PARCO出版]
- 森下 典子
- ・志村流遊び術 [マガジンハウス] 志村 けん
- ・とてつもない嘘の世界史 [河出書房新社]
- トム・フィリップス
- ・治したくないーひがし町診療所の日々ー [みすず書房]
- 齊藤 道雄
- ・赤ちゃんポストの真実 [小学館] 森本 修代
- ・子どもが片づけしたくなる104のアイデアーおうち子育てのヒントいっぱい！ー [文化学園文化出版局]
- 小堀 愛生

【児童書】

- ・怪奇漢方桃印 いらんかね？ 退魔封虫散 [講談社]
 - 廣嶋 玲子
 - ・ルビネこと星ものがたり (本屋さんのルビネこ③) [理論社]
 - 野中 柊
 - ・ルドルフとノラねこブッチー [講談社] 齊藤 洋
 - ・ラストでわかる だれの手紙 (5分間ノンストップショートストーリー) [PHP研究所] たから しげる 編
 - ・モヤモヤそうだんクリニック [NHK出版]
 - 池谷 裕二/ヨシタケ シンスケ
 - ・まんがで読む星座と神話 [学研プラス] 藤井 旭
 - ・雑草のサバイバル大作戦ードクターマキノの植物たんけんー [世界文化社] 里見 和彦
 - ・いし [アリス館] 中川 ひろたか 作/高島 那生 絵
 - ・おむすびころりんはっけよい！ [偕成社]
 - 森くま堂 作/ひろかわ さえこ 絵
 - ・恐竜トリケラトプスとティラノキョウだいーマイアサウラをたすけるまきー [小峰書店] 黒川 みつひろ
 - ・スマホをひろったにわとりは [マイクロマガジン社]
 - ニック・ブランド
- ほか 250冊ほど入りました。

読み聞かせに
おすすめの
一冊

「めっきらもつきらどおんどん」

長谷川 摂子 福音館書店



遊ぶともだちがだれもない。みんなどこへいったのかな？ かんたはしゃくだから大声でめちやくちやのうたをうたってやった。すると風によって穴の中からきみよな声が聞こえてきた。そのとたんひゅうつと穴にすいこまれて、おかしな3人と遊ぶはめに……。さあ、その楽しい3人組の名前を言えるかな？ 読み終えてもきつとあのうたを口ずさんでしまうと思うよ！ ~ちんぷくまんぷくあつぱらこ~のきんぴらこ、じょんがらびこたこ めっきらもつきらどおんどん~

司書おすすめの1冊



一般書 「サガレン」

梯 久美子 角川書店

かつて、この国には“国境線観光”があった。樺太/サハリン、旧名サガレン。何度も国境線が引き直された境界の島。この島には北原白秋や林芙美子、チェーホフや宮沢賢治らも訪れた。いったい、何が彼らを惹きつけたのか？ 賢治の行程を辿りつつ、近現代史の縮図をゆく。

文学、歴史、鉄道、そして作家の業。すべてを盛り込んだ新たな紀行作品。



「サブキャラたちの日本昔話」

児童書

齊藤 洋 作/広瀬 弦 絵 偕成社



たくさんの謎がかくれている日本昔話。「浦島太郎のカメは、なぜ浜辺にあがったのか」「桃太郎の家来たちは、なぜ命がけの鬼退治に、きびだんごひとつずつについてきたのか」「金太郎とクマは、ほんとうにすもうをとったのか」など。物語の脇役=サブキャラたちが語るうちあけ話を3編収録した短編集。

読めばいくつもの謎がとけ、すっきりした気分になるかもしれません。

郷土の本 「奥豊後の山城物語」

岡の里事業実行委員会

「岡の里事業実行委員会」が竹田市内や豊後大野市に残る城址26か所の歴史をまとめた一冊です。城郭の専門用語の解説や、第一部では大友家の家臣「南部衆」、第二部では「南部衆と城」を紹介しています。山城の歴史を振り返り、この本を持って山城散策をしてはいかがでしょうか。

